

# 参院選連続調査 第二回 速報

(2007年7月11日～17日調査)

I	調査の設計	1
II	結果の概要	3
III	今回のポイント	8
IV	調査票	10



社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610  
<http://www.nagano-yoron.or.jp>

# I 調査の設計

## ◆ 調査の目的

昨年秋、小泉内閣から引き継いだ安倍内閣にとって初めての国政選挙となる参院選が7月12日公示、同29日投開票の日程で行われる。

就任以来「戦後レジームからの脱却」を掲げ、教育基本法の改正、憲法改正を視野に入れた国民投票法の成立など、政治の新たなかじ取りを進めている。

しかし、その足もとでは、閣僚らの「政治とカネ」、社会保険庁の「年金記録の不備」をめぐる問題が相次ぎ、終盤国会の波乱続きの攻防や内閣支持率の低下など、政権基盤は大きく揺らいでいる。

また、小泉内閣の下での平成の大合併、三位一体改革により、地方と大都市圏の財政、産業面で地域間格差も進行しており、政治を見つめる国民の視線がきびしさを増し、小選挙区制の定着により、政治を支える有権者の意識や動向が多様化している。

今回の参院選は、安倍政治に対する審判と今後の日本の方向を占う大きな節目として、有権者の意識と動向を把握することをねらいに、協会モニター500人を対象とする連続調査（公示前、選挙期間中、選挙後の合計3回）を実施する。

## ◆ 調査の設計

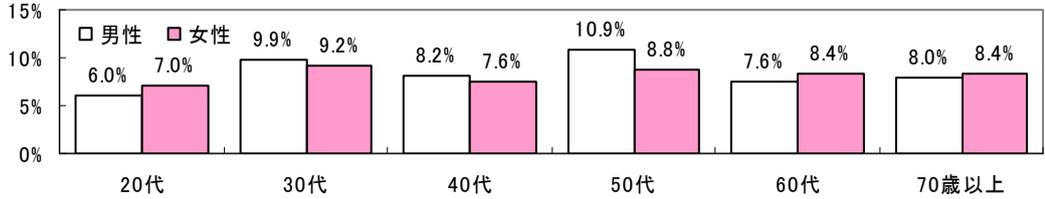
▽調査対象	長野県世論調査協会の登録モニター 県下の成人500人（男性249人 女性251人） ＝男女、年代、地域別の配分が全県有権者の縮図になるように構成
▽調査方法	調査票を郵送 回収は郵送・電話・ファクス・インターネット
▽調査期間	第1回 2007年6月21日～27日 有効回収数 486人（男性246人 女性240人） 回収率 97.2% 第2回 2007年7月11日～17日 有効回収数 487人（男性246人 女性241人） 回収率 97.4%

<注>報告書のパーセント数字は小数点第2位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。

# 回収サンプルの内訳（第二回）

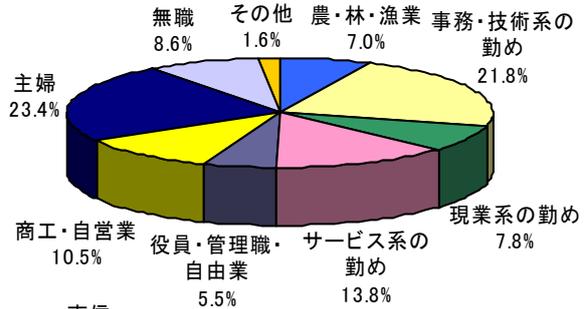
## 【性別と年代】

	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
全体	487	63	93	77	96	78	80
	100.0%	12.9%	19.1%	15.8%	19.7%	16.0%	16.4%
男性	246	29	48	40	53	37	39
	50.5%	6.0%	9.9%	8.2%	10.9%	7.6%	8.0%
女性	241	34	45	37	43	41	41
	49.5%	7.0%	9.2%	7.6%	8.8%	8.4%	8.4%



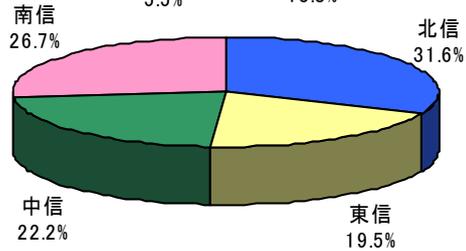
## 【職業】

	20代	30代
農・林・漁業	34	7.0%
事務・技術系の勤め	106	21.8%
現業系の勤め	38	7.8%
サービス系の勤め	67	13.8%
役員・管理職・自由業	27	5.5%
商工・自営業	51	10.5%
主婦	114	23.4%
無職	42	8.6%
その他	8	1.6%



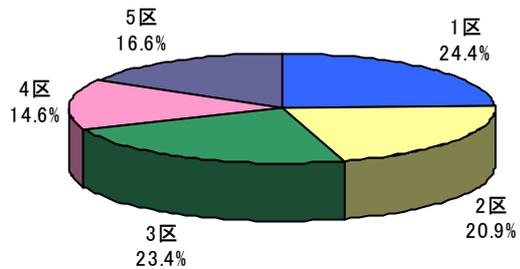
## 【地域】

	北信	東信	中信	南信
北信	154	31.6%		
東信	95	19.5%		
中信	108	22.2%		
南信	130	26.7%		



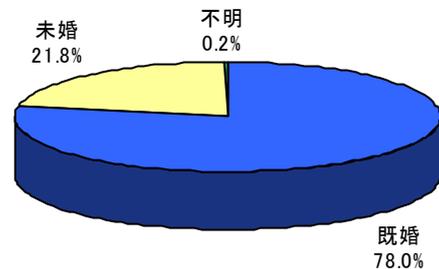
## 【選挙区】

	1区	2区	3区	4区	5区
1区	119	24.4%			
2区	102	20.9%			
3区	114	23.4%			
4区	71	14.6%			
5区	81	16.6%			



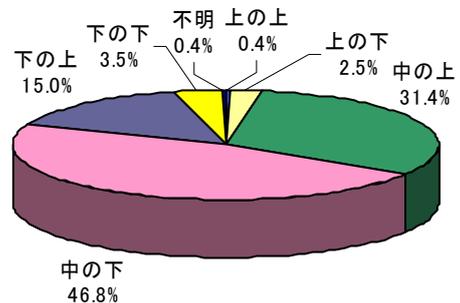
## 【結婚の有無】

	既婚	未婚	不明
既婚	380	78.0%	
未婚	106	21.8%	
不明	1	0.2%	



## 【暮らしぶり】

	上の上	上の下	中の上	中の下	下の上	下の下	不明
上の上	2	0.4%					
上の下	12	2.5%					
中の上	153	31.4%					
中の下	228	46.8%					
下の上	73	15.0%					
下の下	17	3.5%					
不明	2	0.4%					



## II 結果の概要

こんどの参院選に対する関心は「大いにある」だけで約半数を占め、男性や中高年齢層で高く、野党支持層でやや高めになっている。しかし、支持政党なし層では平均値を大きく割り込み40%に届かない。

各政党のマニフェストや重点政策に、目を通したのは、全体で半数をやや上回るが「詳しく読んだ」は10%に届かず「ある程度」が多くを占める。

### 比例代表で投票する政党・候補

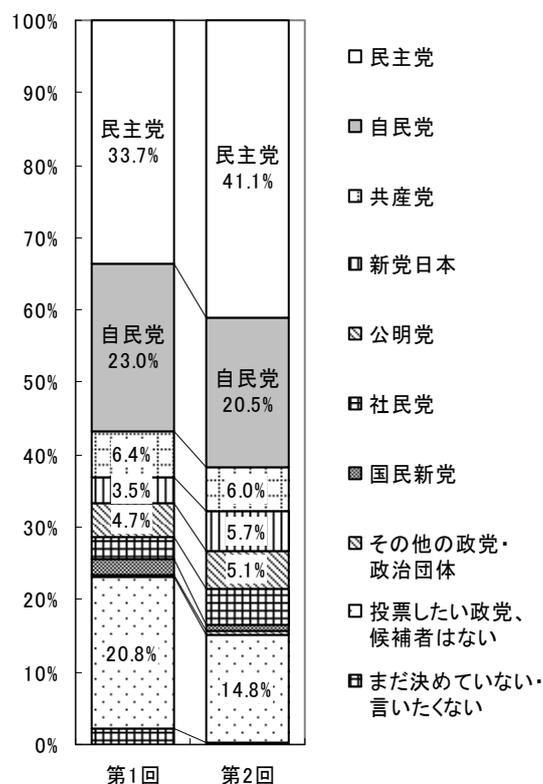
#### ◆「民主」増勢の41% 「自民」に2倍の開き

「民主党」が41.1%と前回よりも7.4ポイント伸ばし「自民党」は20.5%と2.5ポイント減らし、その差は20.6ポイントと前回よりもほぼ倍増のかたちになった。

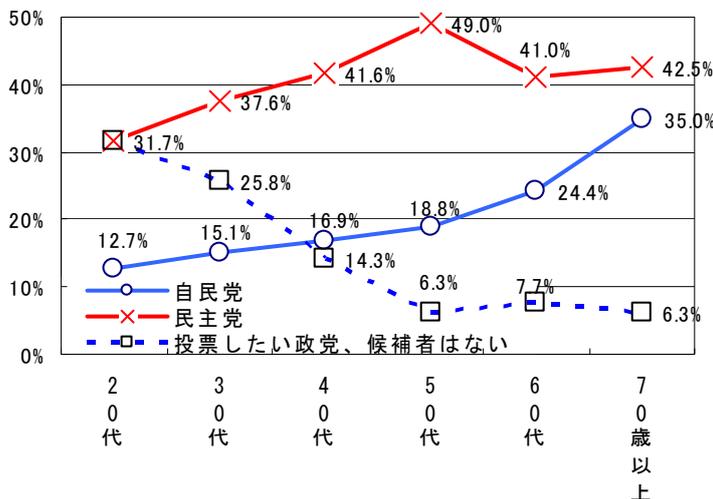
「共産党」が6.0%で前回に引き続き3位。4位には僅差で「新党日本」が浮上し、以下「公明党」「社民党」「国民新党」の順で続く。「投票したい政党、候補者はない」が14.8%。

「民主党」は男性45.1%—女性36.9%の落差がめだつが「自民党」ではほぼ並ぶ。年代層で見ると「民主党」は40代以上が高めで、70歳以上（以下「70代」と略記）では42.5%と最も高い。「自民党」も高齢層で伸び70代で35.0%。

両党ともに若い層で落ち込み「投票したい政党、候補者はない」が平均値を大きく上回り、20代では30%を超える。無党派層では民主党が25.4%と最も高いが、自民党は低迷しており「投票したい政党、候補者はない」が過半数を占める。



#### ◆年代別では

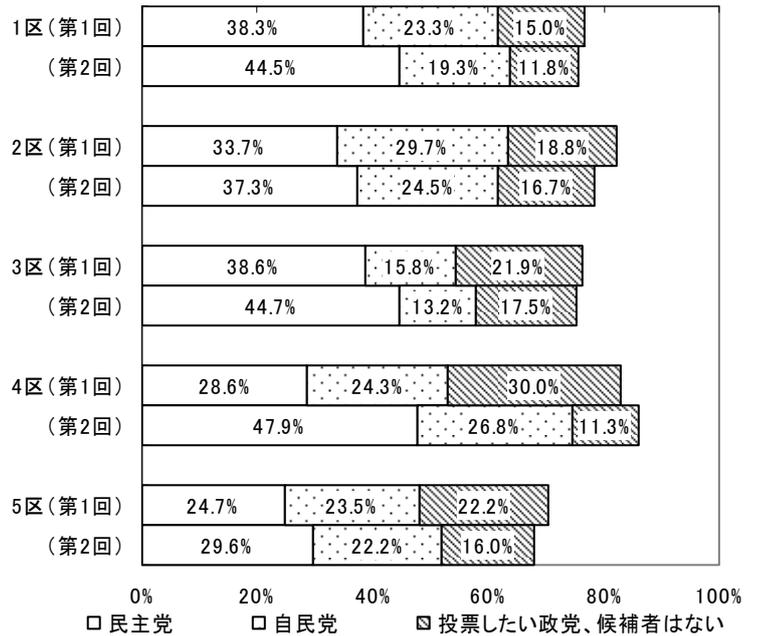


## ◆全選挙区で「民主」優位キープ 「自民」は4区除き下降

選挙区別では「民主党」がすべての選挙区で優位を保ちつつ支持を増やし、4区の47.9%を最高に、3区と1区で40%台に乗せた。対照的に「自民党」は4区を除いて減らし、3区で13.2%にダウンし、1区でも20%を割り込んだ。

民主党、自民党のほかの政党は上昇し、共産党は5区で9.9%、「新党日本」は2区で8.8%、「公明党」が5区で7.4%、社民党は1区で7.6%と、それぞれの最高をマークした。

◆選挙区別では～自民、民主、支持なし層

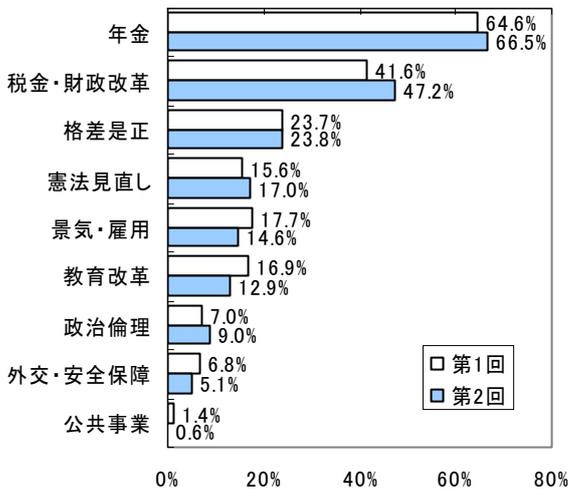


## 投票で重視する争点

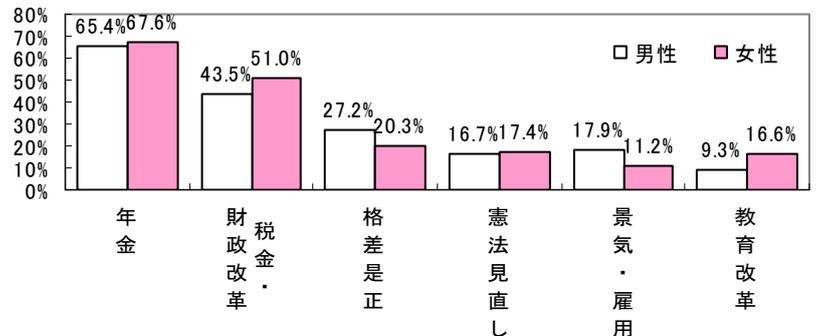
### ◆「年金」断然トップ続く 「憲法」が浮上

「年金」が飛び抜けてのトップを続け「税金・財政改革」が少し上昇、それに「格差是正」が続き、上位3番は前回と変わらない。6番目だった「憲法見直し」が4位に浮上し「景気・雇用」「教育改革」が上位に並ぶ。

「年金」では引き続き男女差はみられないが、若い年代層で上昇し、30代では70%台に達して年代層の最高。「税金・財政改革」は20代がトップ。前回に引き続き「格差」「景気」で男性が高め、女性は「財政」や「教育」が上回る。



◆男女別では



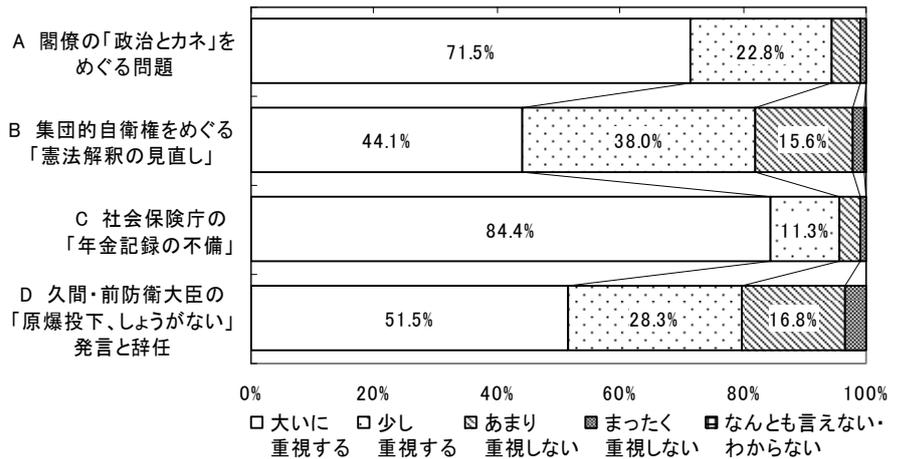
## 投票で重視する政治問題

### ◆年金「大いに重視」80%突破 政治とカネも高率

先の国会審議から引き継がれた与野党攻防の政治問題として4つ挙げたなかで、参院選で「大いに重視する」のは、社会保険庁の「年金記録の不備」が84%で最も高く「政治とカネ」でも70%を超えた。防衛相の「原爆投下、しょうがない発言」でも半数を突破。集団的自衛権をめぐる「憲法解釈の見直し」は44%で「重視しない」全体を大きく上回った。

総じて、年代層が高まるほどに「重視」の割合が高まるが、年金記録問題では若い層も敏感になっており、30代では「大いに重視する」が90%台に達し、年代層のなかで最も高くなっている。

今回、比例代表で「投票したい政党・候補者はない」とする層で「大いに重視する」は「年金記録」が78%と最も高く「政治とカネ」には68%と平均値に届かない。

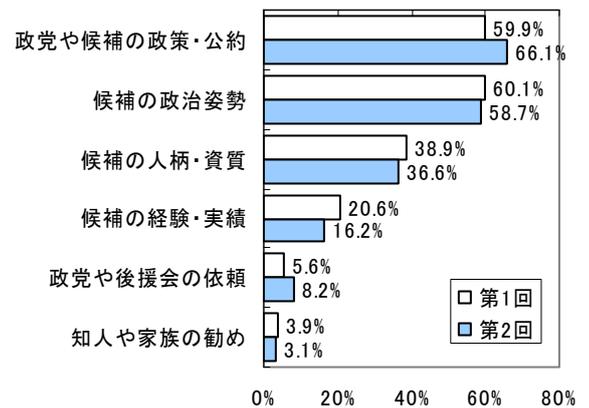


## 長野選挙区の投票で重視する点

### 「政策・公約」伸びてトップ

「政党や候補の政策・公約」が伸びてトップに挙げられ、前は同列だった「候補の政治姿勢」と開きが生じ、男性が「政策・公約」で大きく女性を引き離し「政治姿勢」では女性がリードする構図がはっきり現れた。

民主党の支持層が上位2つの項目で、自民党を上回るが、候補の「人柄・資質」や「経験・実績」では自民党の支持層が上回る。支持政党なし層では「政策・公約」が平均値を下回る一方で「政治姿勢」でやや上回る。



## 安倍内閣の評価

### ◆「支持する」さらに下降 23.8% 不支持が4人に3人

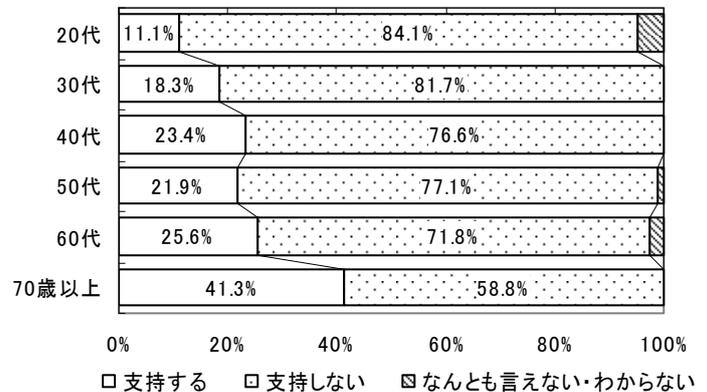
「支持する」がさらに下降し 3.2 ポイント減少の 23.8%、その分「支持しない」が高まり 74.9%。

前回同様、男女間にほとんど違いはみられず、年代層が高まるほどに支持が増え、若い層では不支持が高まる流れが固着の観を呈する。

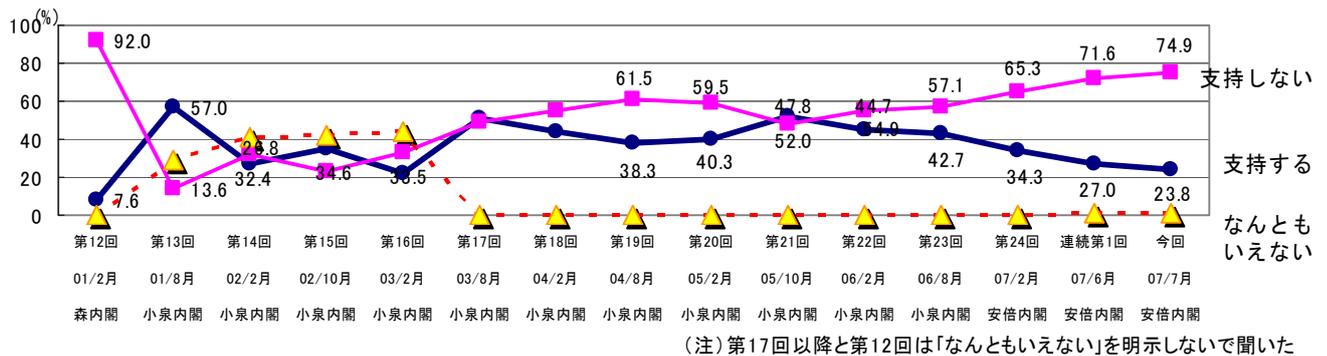
自民支持層の支持が 76.9% の一方で、不支持層はほぼ 4 人に 1 人の状況もほとんど変わらず、連立与党の公明党は支持がやや落ち込み 60% を割り込んだ。

民主党と無党派層で不支持が 90% 前後の高さは変わらない。

◆年代別では



### ◆内閣支持率の推移



## 支持する政党

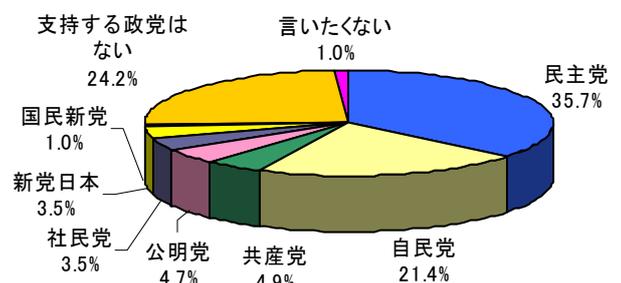
### ◆「民主党」リード 35.7% 「自民党」減少 21.4% 「支持なし」24.2%

「民主党」が 35.7% に 8.7 ポイント跳ね上がり「自民党」は 21.4% と 4.9 ポイント落ち込み、前回の伯仲状態から 14.3 ポイントの大差が生じた。「支持する政党はない」が前回から引き続き減少して 24.2% となり、自民党、無党派層から民主党への流動が鮮明になっている。

民主党の支持率は、現在の党体制に再編成された後の 98 年 7 月の当協会の第 7 回モニター調査以降では最高。また、政党の支持率が支持政党なしを上回ったのは、小泉内閣登場直後の 2001 年 8 月調査（自民党 31.7%、支持政党なし 27.1%）以来。2005 年 10 月の衆院選後には自民党、支持政党なしがともに 33.3% で並んだ。

「共産党」が前回の 3 位をキープし、僅差で「公明党」の 4 位も変わらず「社民党」と「新党日本」が 5 位に並び「国民新党」の順で続く。

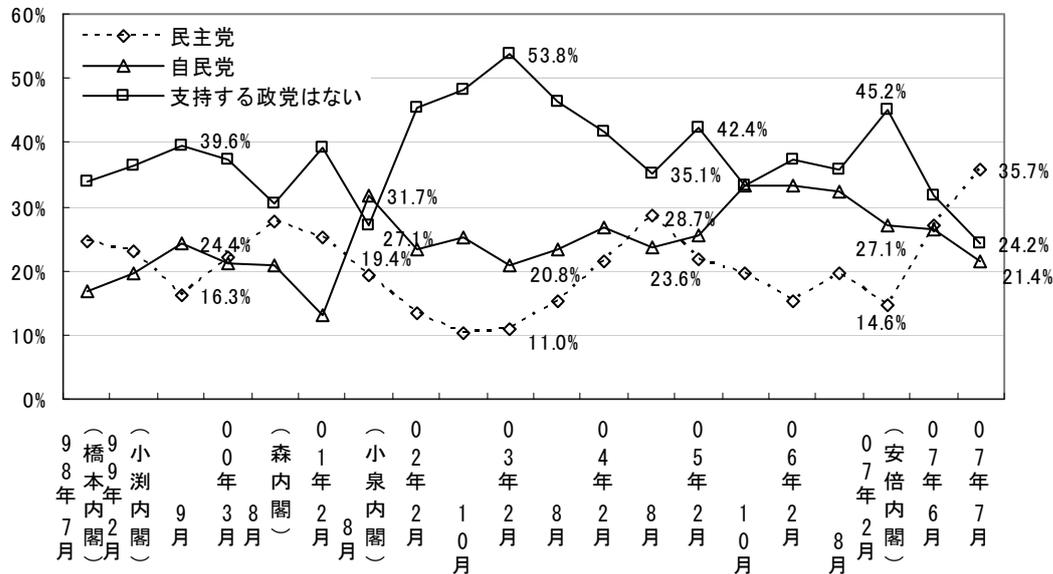
「民主党」が男性で 37.0% と平均値を少し上回



り、女性ではやや下回るが男女差は大きくはない。自民党も男女が 20%前後でほぼ並び、支持政党なしは女性で 30%に迫る。

選挙区別では、「民主党」が 1～4 区で自民党を上回り、3 区で最高の 42.1%まで伸ばし、自民党に 30ポイント近い大差をつけた。自民党は辛くも 5 区のみで民主党と並ぶ。

【政党支持の推移】



	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回
	98年7月 (橋本内閣)	99年2月 (小淵内閣)	99年9月 (小淵内閣)	00年3月 (小淵内閣)	00年8月 (森内閣)	01年2月 (森内閣)	01年8月 (小泉内閣)	02年2月 (小泉内閣)	02年10月 (小泉内閣)	03年2月 (小泉内閣)
民主党	24.5%	23.0%	16.3%	22.2%	27.7%	25.2%	19.4%	13.3%	10.3%	11.0%
自民党	16.7%	19.7%	24.4%	21.0%	20.8%	13.0%	31.7%	23.3%	25.2%	20.8%
支持する政党はない	33.9%	36.5%	39.6%	37.3%	30.4%	39.2%	27.1%	45.5%	48.3%	53.8%

	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	連続 第1回	今回
	03年8月 (小泉内閣)	04年2月 (小泉内閣)	04年8月 (小泉内閣)	05年2月 (小泉内閣)	05年10月 (小泉内閣)	06年2月 (小泉内閣)	06年8月 (小泉内閣)	07年2月 (安倍内閣)	07年6月 (安倍内閣)	07年7月 (安倍内閣)
民主党	15.3%	21.5%	28.7%	21.9%	19.7%	15.2%	19.5%	14.6%	27.0%	35.7%
自民党	23.2%	26.7%	23.6%	25.5%	33.3%	33.4%	32.3%	27.1%	26.3%	21.4%
支持する政党はない	46.2%	41.6%	35.1%	42.4%	33.3%	37.4%	35.6%	45.2%	31.7%	24.2%

### Ⅲ 今回のポイント

#### 議席を伸ばしてほしいのは

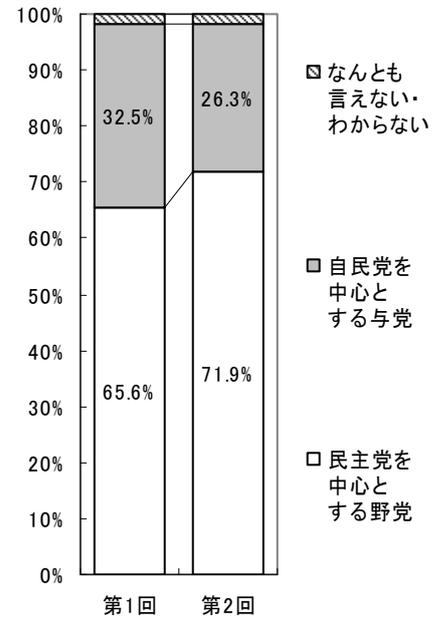
##### ◆「民主を中心とする野党」70%台 「与党」は30%割る

「民主党を中心とする野党」がさらに上昇し72%に達し「自民党を中心とする与党」は下降し26%。その差は33ポイントから46ポイントまでに広がった。

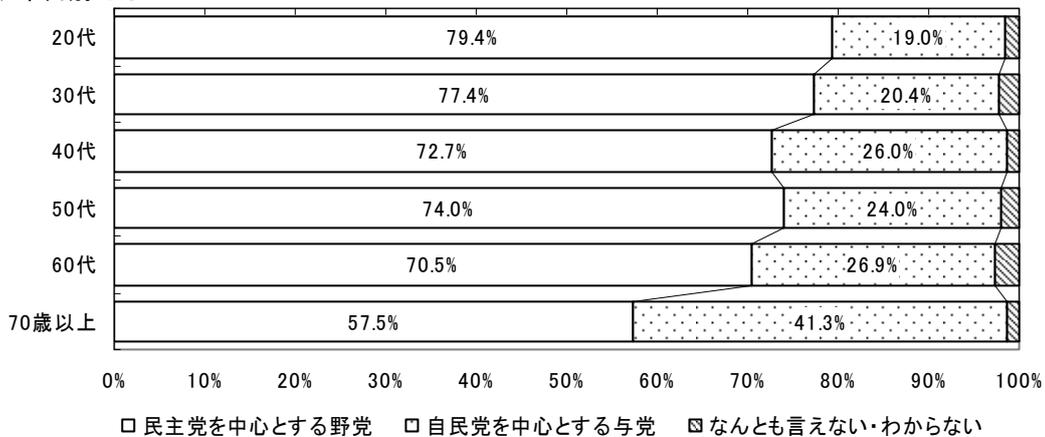
男女間に差はなく、年代層では70代を除き「野党」が70%台に乗り、20代では前回の63%から一挙に80%に迫る高率となり最も高くなった。

選挙区別では「野党」が3区で増勢がめだち80%に達して最高をキープし、4区の65%との開きが著しい。

支持政党なし層で「野党」が84%とやや増え「与党」が11%で平均値の半分以下にとどまる状況に変わりはない。



##### ◆年代別では

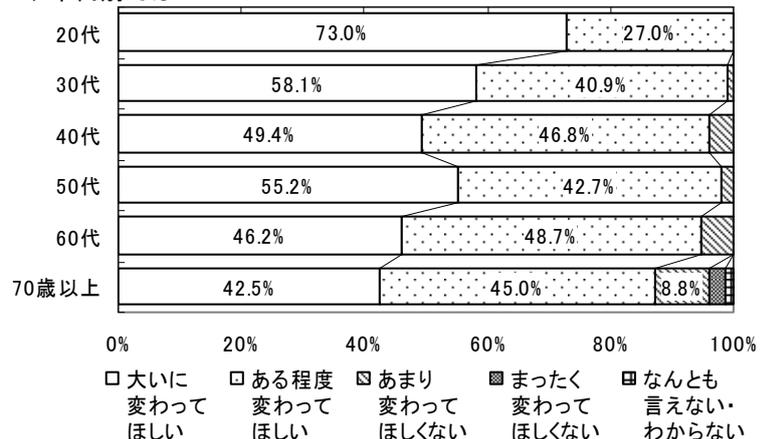


##### ◆日本の政治「大いに変わってほしい」過半数

日本の政治が「大いに変わってほしい」だけで半数を超え、男性の期待感が女性を大きく引き離す。若い年代層で高めになっており、20代では70%台に乗り最も高い。

政党支持層では、民主党62%—自民党27%の開きがめだち、無党派層は57%と平均値をやや上回る。「大いに変わってほしい」は安倍内閣の支持層で28%となっている。

##### ◆年代別では



## 参院選後の政治の方向

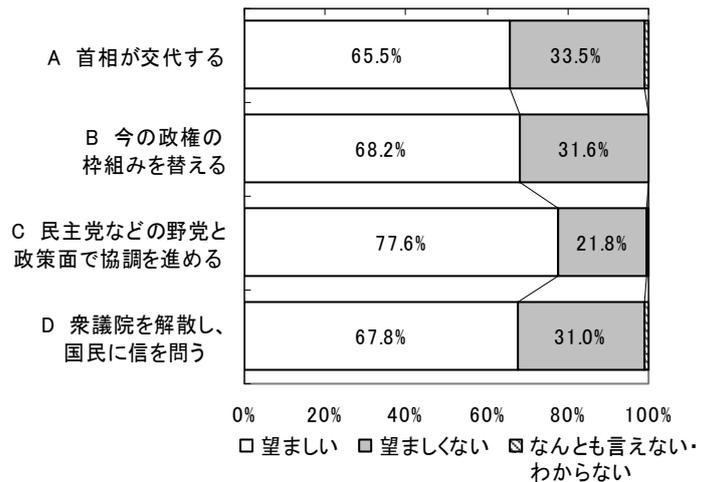
### ◆首相交代・衆院解散「望ましい」65%超

参院選の結果次第で、安倍内閣の交代が「望ましい」が66%。男女差はみられないが、若い年代層で高く、20代では4人に3人を占め最も高い。自民支持層でも23%が交代を支持する。

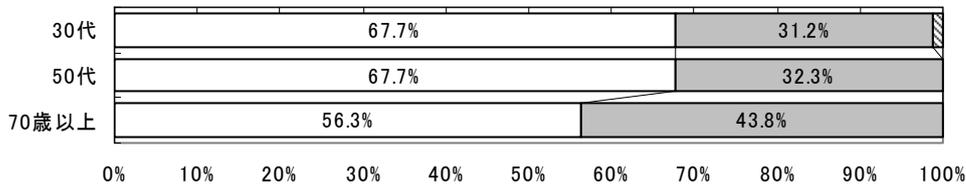
今の自公連立の政権の枠組みの変更にも「望ましい」が68%を示し男性で高め。自民支持層で30%台を示す一方で、公明党では10%に届かない。

「民主党などの野党と政策協調を進める」が78%と高くなっており、民主支持層では90%に達し、自民党で66%、無党派層では73%の期待感を示す。公明党では30%程度の半面、共産党、社民党で80%前後に高まる。

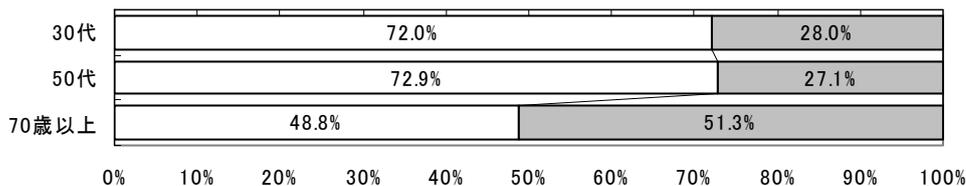
衆議院の解散・総選挙については「望ましい」が68%。選挙区別では3区と1区で期待感が70%を超える。政党支持層では民主党が80%を突破し、無党派層でも高くなっている。



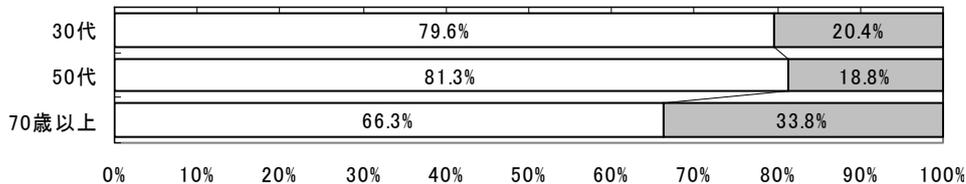
#### ◆首相の交代～年代別では



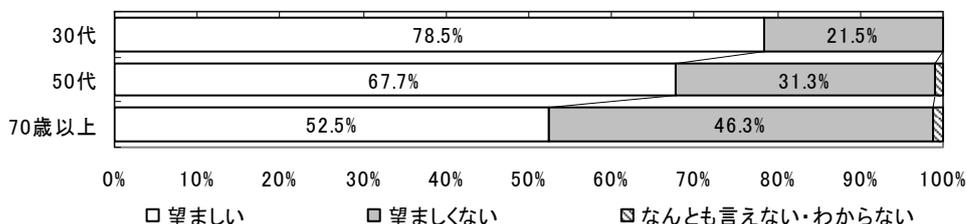
#### ◆政権の枠組みの変更～年代別では



#### ◆民主党などの野党と政策協調～年代別では



#### ◆衆議院解散～年代別では



## IV 調査票

読み上げない

問1 あなたは、こんどの参院選に関心がありますか。

- ① かなり関心がある
- ② ある程度関心がある
- ③ あまり関心はない
- ④ まったく関心はない
- ⑤ なんとも言えない・わからない

問2 あなたは、参院選における政党のマニフェスト（政権公約）や重点政策に目を通しましたか。

- ① 詳しく読んだ
- ② ある程度目を通した
- ③ あまり見ていない
- ④ まったく見ていない
- ⑤ なんとも言えない・わからない

問3 あなたは、こんどの参院選で重視する争点は何ですか。2つ以内に絞ってお答えください。

- ① 教育改革
- ② 税金・財政改革
- ③ 年金
- ④ 格差是正
- ⑤ 憲法見直し
- ⑥ 政治倫理
- ⑦ 外交・安全保障
- ⑧ 景気・雇用
- ⑨ 公共事業
- ⑩ その他（                      ）
- ⑪ 特にない
- ⑫ 何とも言えない・わからない

問4 あなたは、こんどの参院選で次のA～Dに関して重視しますか。

A 閣僚の「政治とカネ」をめぐる問題

- ① 大いに重視する
- ② 少し重視する
- ③ あまり重視しない
- ④ まったく重視しない
- ⑤ なんとも言えない・わからない

B 集団的自衛権をめぐる「憲法解釈の見直し」

- ① 大いに重視する
- ② 少し重視する
- ③ あまり重視しない
- ④ まったく重視しない
- ⑤ なんとも言えない・わからない

C 社会保険庁の「年金記録の不備」

- ① 大いに重視する
- ② 少し重視する
- ③ あまり重視しない
- ④ まったく重視しない
- ⑤ なんとも言えない・わからない

D 久間・前防衛大臣の「原爆投下、しょうがない」発言と辞任

- ① 大いに重視する
- ② 少し重視する
- ③ あまり重視しない
- ④ まったく重視しない
- ⑤ なんとも言えない・わからない

問5 あなたは、こんどの参院選の長野選挙区の投票では、なにを重視しますか。2つ以内に絞ってお答えください。

- ① 候補の人柄・資質
- ② 政党や後援会の依頼
- ③ 政党や候補の政策・公約
- ④ 候補の経験・実績
- ⑤ 候補の政治姿勢
- ⑥ 知人や家族の勧め
- ⑦ その他（                      ）
- ⑧ なんとも言えない・わからない

問6 あなたは、こんどの参院選の比例代表の投票では、どの政党または政党の候補者に投票しますか。

- ① 自民党
- ② 民主党
- ③ 公明党
- ④ 共産党
- ⑤ 社民党
- ⑥ 国民新党
- ⑦ 新党日本
- ⑧ その他の政党・政治団体（                      ）
- ⑨ 投票したい政党、候補者はない
- ⑩ まだ決めていない・言いたくない

問7 あなたは、こんどの参院選で、議席を伸ばしてほしいのは、自民党を中心とする与党ですか、民主党を中心とする野党ですか。

- ① 自民党を中心とする与党      ③ なんとも言えない・わからない  
② 民主党を中心とする野党

問8 あなたは、参院選後の次のA～Dのような政治の方向についてどう思いますか。

A 首相が交代する

- ① 望ましい      ③ なんとも言えない・わからない  
② 望ましくない

B 今の政権の枠組み（自民党・公明党の連立）を替える

- ① 望ましい      ③ なんとも言えない・わからない  
② 望ましくない

C 民主党などの野党と政策面で協調を進める

- ① 望ましい      ③ なんとも言えない・わからない  
② 望ましくない

D 衆議院を解散し、国民に信を問う

- ① 望ましい      ③ なんとも言えない・わからない  
② 望ましくない

問9 あなたは、日本の政治が変わってほしいと思いますか。

- ① 大いに変わってほしい      ④ まったく変わってほしくない  
② ある程度変わってほしい      ⑤ なんとも言えない・わからない  
③ あまり変わってほしくない

問10 あなたは、どの政党を支持しますか。

- ① 自民党      ⑥ 国民新党  
② 民主党      ⑦ 新党日本  
③ 公明党      ⑧ その他の政党（      ）  
④ 共産党      ⑨ 支持する政党はない  
⑤ 社民党      ⑩ 言いたくない

問11 あなたは、安倍内閣を支持しますか。

- ① 支持する      ③ なんとも言えない・わからない  
② 支持しない

<性別> ① 男性 ② 女性

<年代> ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代 ⑥ 60代 ⑦ 70代以上  
(※年代と合わせて、選択肢番号を付けております)

<職業> ① 農・林・漁業      ⑥ 商工・自営業  
② 事務・技術系の勤め      ⑦ 主婦  
③ 現業系の勤め      ⑧ 無職  
④ サービス系の勤め      ⑨ その他（具体的に      ）  
⑤ 役員・管理職・自由業

<地域> ① 北信 ② 東信 ③ 中信 ④ 南信

<選挙区> ① 1区 ② 2区 ③ 3区 ④ 4区 ⑤ 5区

<結婚> ① 既婚 ② 未婚

<暮らしぶり> ① 上の上 ② 上の下 ③ 中の上 ④ 中の下 ⑤ 下の上 ⑥ 下の下